

WAT-NeW では 2 ヶ月に 1 回、WAT-NeW 参画機関間の情報共有を目的とし、メール配信を行っております。本メールは WAT-NeW 世話人、運営委員の先生方、また事務ご担当の皆様へ BCC にてお送りしております。貴学の研究者の皆様へ、ご周知頂けましたら幸いです。



WAT-NeW メールマガジン vol.22 2018.03.05



◆今号でお知らせする内容

ト【1】コラム

ト【2】WAT-NeW 限定グラント・アワード・共同研究提案情報

ト【3】イベント情報

【1】臨床研究法と臨床研究支援

宮崎大学医学部附属病院臨床研究支援センター 准教授 有村保次

ついに臨床研究法が施行されることとなった。私は 2007 年に京都大学の臨床研究者養成コースで臨床研究手法について体系的に学ばせて頂いた。当時、同コースの履修生を対象にアンケートを行い、臨床研究医の現状として報告した（医学教育 2010, 41(4):259-265）。その中で、臨床研究を行う上で「時間がない」、「研究協力者（医師、統計家等）がない」、「各医療機関からの支援がない」などの回答が多かった。それから 10 年が経過し、多くの大学病院で臨床研究の支援を行う部署が設置されてきた。しかし、指針の改正や臨床研究法の施行等、規制改革が早いスピードで進むなか、現場での医療者に対する臨床研究支援は十分とは言えない。個人的には、当該支援を行う部門での「時間がない＝規制対応のみで支援どころではない」、「協力者がいない＝現場の医師が好意的でなく、臨床研究手法を理解していない。生物統計家を募集してもいない等」、「各医療機関から支援がない＝大学や病院運営で精一杯で、当該支援を行うための必要な人材の確保のための財源がなく、そもそも必要性について理解がない」など、異なる立場で 10 年前と同様の課題を実感している。臨床研究法の施行に伴い、それに対する対応も重要な課題であるが、良質なエビデンスの創出のための真の支援を今一度考え上記課題に対峙すべきいい機会だと感じている。

【2】WAT-NeW 限定グラント・アワード・共同研究提案情報

■2017 株式会社トミー精工 小型微量遠心機提供アワード(3/31 締切)

機器を利用した新しい手法及び物質・機器の開発に関するアイデアに Multi Spin を贈呈！

詳細：<http://wat-new.org/archives/1291/>

■2017 九州プロサーチ LLP サイトカイン測定提供アワード(3/31 締切)

高感度マルチアッセイ電気化学発光法（ECL 法）を用いた炎症性サイトカイン無償測定 IL, IFN, THF 等のサイトカイン 10 項目をヒト試料で測定！

詳細：<http://wat-new.org/archives/1571/>

※共同研究提案等ございましたら、WAT-NeW 事務局までご連絡ください。

=====
【3】 イベント情報
=====

■H29 年度第 5 回産学協働研究説明会

（大正製薬，持田製薬，BMS，ルンドベック，ジーランド，田辺三菱製薬）

日時：平成 30 年 3 月 13 日（火）17:00～19:30

会場：九州大学 病院キャンパス 総合研究棟 1F105 室

参加：無料（登録制），個別相談は別途調整

詳細：<http://ardent-j.org/archives/4232/>

■ARO 協議会 第 6 回学術集会「自立化と変革への対応」

日時：平成 30 年 8 月 30 日（木）～9 月 1 日（土）

会場：九州大学医学部百年講堂

詳細：<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/aro2018/>

■第 6 回 TR 推進合同フォーラム・ライフサイエンス技術交流会

日時：平成 30 年 11 月 2 日（金）

会場：九州大学医学部百年講堂

詳細：近日公開

九州大学 先端融合医療創成センター ARO 橋渡研究推進部門

WAT-NeW 事務局（鶴屋/川口/麻生）

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

TEL :092-642-4802

～お詫び～

前号コラム執筆者の所属記載に誤りがございました。

「医科大学医学部 第一内科学講座 講師 中山田真吾」と記載されておりましたが、正しくは「産業医科大学医学部 第一内科学講座 講師 中山田真吾」でございます。ご迷惑をお掛け致しましたことを心よりお詫び申し上げます。